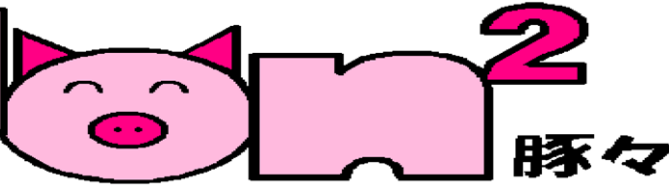


食肉衛生検査情報



〈今月の特集〉
と畜場で豚熱が発生したら
どうなるの？



佐賀県でイノシシの豚熱陽性事例が確認されています。今回は、「もし と畜場で豚熱が発生したら？」をテーマに、平成30年から発生が続いている豚熱について、全国のと畜場での発生事例を紹介します。

事例1

解体検査で豚熱がみつかった

経緯：搬入時にへい死する豚や発育不良の増加
解体検査で保留になり家畜保健衛生所
(家保)へ通報

対応：同日と畜解体した枝肉と内臓は**廃棄処分**
同じ冷蔵庫内の枝肉も**廃棄処分**
と畜場の閉鎖

影響：消毒を行い、**6日後**に全面再開



事例3

豚熱の豚と交差した豚が搬入された

指示：同時間に繋留された豚の留置き

対応：すでに枝肉になっておりその状態で
留め置き、と畜場の閉鎖
※枝肉は協議後に流通

影響：消毒箇所の増加、**6日後**に全面再開

事例2

解体検査で豚熱疑いの保留が出た

対応：家保へ通報
繋留所・ライン上の豚のと殺禁止
家畜の搬入停止、退出車両の消毒
全車両の出入り禁止

影響：**11時20分**疑い事例が発生したが、
豚熱ではないと判定されたため、
17時20分と畜再開、車両の出入り解除
20時30分と畜終了

事例4

繋留中の豚の農場で豚熱がみつかった

対応：と畜場内で当該農場の豚を殺処分
同時刻に繋留されていた同居豚も殺処分
と畜場の閉鎖

影響：消毒を行い、**6日後**からと畜再開

豚熱が発生すると、
と畜場は1週間近く**閉鎖**されます！

閉鎖されたと畜場内では、
同日に搬入や繋留されていた豚も
廃棄対象となります。

紹介した事例では、搬入された豚が
豚熱陽性の場合だけでなく、
搬入までに陽性の豚と動線が交差し
たり、出荷元農場で発生した場合も
疫学関連施設となり、と畜場が閉鎖
されています。

と畜場が閉鎖されてしまうと、
同じと畜場に搬入している農場
にまで多大な影響が及んでしま
います。

消毒の徹底をはじめ、
適切なワクチン接種等、
各自でできる対策を十分に
行っていただくよう、
あらためてお願いします！